



たんぽぽ通信

高齢者の相談窓口

玄関を入って右側。吹き抜けの開放的なスペースに成増おとしより相談センターと居宅支援事業所の相談窓口があります。



平成13年4月 在宅介護支援センターの窓口として開設。職員3名。居宅介護支援事業所と兼務していました。
平成18年4月 成増地域包括支援センターとなり4名（看護師、社会福祉士、主任ケアマネージャー）の職員が配置。
平成21年6月 皆様に親しみやすくなるように“成増おとしより相談センター”的通称名がつきました。



筋力アップの運動がしたい
お風呂に手すりをつけたい
介護保険の申請がしたい
配食サービスを利用したい
将来の財産管理が心配
物忘れが気になる

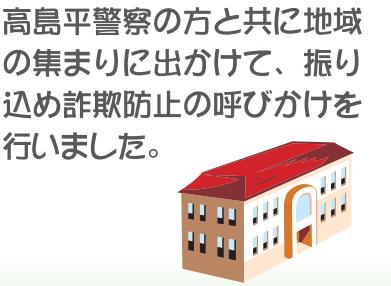
地域で暮らす高齢者の皆さんのお手伝いをサポートする窓口です。
困った時はおとしより相談センターを思い出し、ぜひご相談ください。

相談時間：月～土曜日9時～17時 休業日：日・祝・年末年始

認知症サポーター養成講座



振り込め詐欺防止



高島平警察の方と共に地域の集まりに出かけて、振り込め詐欺防止の呼びかけを行いました。

定期会議&ケアプラン点検



雨の日も、風の日もこの愛車で皆様のお宅に訪問しています。

次号は10月上旬発行予定です。お楽しみにして下さい。

ホームページアドレス (PC・携帯両対応)
<http://misono-fukushikai.or.jp>



平成23年7月発行 第15号 (特別号) 社会福祉法人みその福祉会 ケアタウン成増



[10年永年勤続表彰者記念写真]

(上段左) 小久保、村田、理事長(坂本)、岡崎 (下段左) 林下、伊早坂、村上、露久保

「感謝」

開設10周年にあたり

社会福祉法人みその福祉会 理事長 坂本 寛

ケアタウン成増は平成23年4月をもって開設10周年を迎えることが出来ました。10年間という月日の中で、以前は畠であったこの土地に、地域の高齢者の方々やそのご家族、ボランティアの方々が毎日集まっていただけの環境が出来たことはとても有難く、当施設にご協力・ご支援をいただいた当法人役員・ご家族・ボランティア・地元町会・各種団体の皆様やご指導いただいた東京都や板橋区の特に福祉行政に係る皆様に改めて「感謝」を申し上げたいと思います。

10年の間には様々な事がありました、地域の皆様が安心して暮らしていただきたいという創設・開設に対する先人の想いを大切に、「住み慣れた街で共にふれあいながら」をモットーに職員が一丸となり夢中で走っていました。ケアの考え方も個別・ユニットケアなど新しい考え方が次々と導入され、特に認知症ケアについては大きく考え方も運用も変わってきました。

3月11日における東日本大震災後、私自身も事前に被災地に行き、当施設の介護職員を仮介護施設の支援の為に短期で現地に派遣しました。近代国家日本がはじめて経験をする大震災であるがゆえに、その惨状に自分の目を疑いました。被災されながらも一生懸命に地域のお年寄りを守ろうとするその姿勢に、施設関係者の一人として気持ちを新たにし、地域の中での施設の役割の大きさを改めて感じました。

これからも当法人の基本理念である「ご利用者本位で尊厳のある生活」を支援し、いつも地域に愛されるケアタウン成増であるように、職員一同頑張ってまいります。関係の皆様にはより一層のご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。



ケアタウン成増のあゆみ

- 平成11年9月 特別養護老人ホーム ケアタウン成増設立代表者に坂本 健が就任
- 平成12年3月 社会福祉法人みその福祉会設立
理事長に坂本 健が就任
- 平成13年4月 ケアタウン成増として特別養護老人ホーム、ショートステイ、デイサービス、
ホームヘルプサービス、居宅支援事業を開設
施設長に志賀努が就任
板橋区の委託を受けて、板橋区成増在宅介護支援センター事業を開始
- 平成13年7月 みその幼稚園との交流会を開始
- 平成13年8月 第1回ケアタウン成増納涼会の開催（第1回は2Fルーフバルコニーにて開催、第2回より駐車場をメイン会場に地域ボランティアの皆様の協力により開催）
- 平成15年4月 理事長兼施設長に坂本寛が就任
人事考課制度の導入
- 平成15年9月 創設者坂本清氏胸像建立
敬老の日に歌の出前ボランティアとして川中美幸さんが来園
- 平成15年10月 「板橋区特別養護老人ホーム入所指針」による入所順位の決定を開始
- 平成16年3月 福祉サービス第三者評価の受審開始
- 平成16年4月 認知症ケアとして、回想法をとりいれた「昭和の家」活動を開始（月に1回、畳や
ちゃぶ台などを用意し、4~5名の利用者を対象に調理活動等を実施）
- 平成16年11月 バスハイク（日帰り）の取り組みを開始（江戸東京博物館へ）
- 平成16年12月 「平成16年度 食品衛生優良施設 板橋区長賞」を受賞
- 平成17年4月 ショートステイの居室配置変更（2Fに集中して配置することにより専門的なケアを
目指す）
介護職員勉強会（月1回）を開始
- 平成18年4月 ショートステイ、デイサービス、ホームヘルプにおいて介護予防事業を開始
板橋区の委託を受けて、板橋区成増地域包括支援センター事業を開始
自動体外式除細動器（AED）の導入
- 平成18年4月 音楽療法士による「音楽療法プログラム」の開始
- 平成18年8月 ホームページ開設
- 平成18年10月 バスハイク（一泊旅行）の取り組みを開始（青梅のかんぽの宿へ）



ヘルパーステーション



開設して早10年。

現在、4名のサービス提供責任者と、24名のホームヘルパーが活動中！！

ご利用者も年々増え、現在、約120名のお宅で日常生活の支援をしています！！！

* * * * *

技術や知識の向上の為、月に一度、部内研修を実施。ヘルパー同士の交流も深め、チームでより良いケアが出来るよう努めています。部署対抗『ケアタウン成増卓球大会』では、三度の優勝を勝ち取り、抜群の団結力を発揮しています！！！



自宅で、自分らしい生活が送れるよう、ご利用者一人一人と向き合った支援を心掛けています。
11年目のヘルパーステーションを、これからもよろしくお願ひいたします。





平成13年4月、特別養護老人ホーム（ケアタウン成増）の開設と同時に、1階フロアにて職員2名、送迎バス1台、運転手1名といった体制にてデイサービスの営業を開始致しました。当初はご利用者が1～2名しかおらず、ご利用者数より職員数の方が多い日もありましたが、現在は約120名（登録人數）の方にご利用頂き、毎日賑やかに過ごして頂いております。



センターでは、ご利用者の皆様にできるだけ楽しく過ごして頂き、日々の生活の中での効果を感じて頂ける様、様々な活動を計画してまいりました。



同時にボランティアの受け入れも積極的に行ってまいりました。歌や踊りを披露して下さる大人数のグループの方々の他、日常のお手伝いをして下さる為に、1人で申し込んで下さった方など、ケアタウン成増、ひいては高齢者福祉に興味を持たれた方とできるだけ長くお付き合いさせて頂ける様、地域との交流を大切に取り組んでまいりました。現在は約20組の皆様方にフロアと一緒に盛り上げて頂いております。最近では、新たに手品を披露して下さる方にお越し頂き、楽しい時間を過ごさせて頂きました。



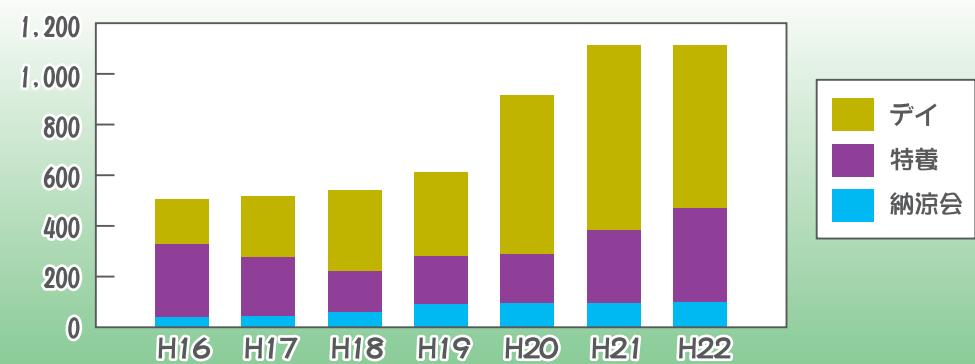
当センターでは、ご利用者の皆様が自分らしく、安心して暮らせるよう、生きがいやお友達づくりの場として、今後一人ひとりに適したより良いサービスを提供できますよう、努めてまいります。



- | 年 | 内容 |
|----------|--|
| 平成19年3月 | 「第二次避難場所」として板橋区と協定を締結 |
| 平成19年6月 | 第1回 特別養護老人ホーム ケアタウン成増「家族会」の開催
洋服の訪問販売会を開始（6月と11月の年2回開催）
外部講師による法人全体の接遇マナー研修を開催 |
| 平成19年7月 | 夕涼み会の開催を開始
「東京都介護サービス情報の公表」の開始 |
| 平成19年9月 | 接遇改善委員会の発足 |
| 平成19年10月 | 「板橋区セーフティーネットワーク」への参加
広報誌「たんぽぽ通信」創刊（年4回発行） |
| 平成20年5月 | プランター園芸（トマト・きゅうり等）の取り組みを開始
緑のカーテン活動としてゴーヤの栽培を開始 |
| 平成21年6月 | 板橋区成増地域包括支援センターの通称名が、「板橋区成増おとしより相談センター」に決定 |
| 平成21年12月 | 「平成21年度 特定給食施設等 栄養改善知事賞」を受賞 |
| 平成22年3月 | ホームページ更新（ブログの掲載開始） |
| 平成22年12月 | 省エネ改修工事の実施（CGSの更新、太陽パネルの取付、2重サッシの取付） |



	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
納涼会	27	52	65	81	87	83	96
特養	280	203	139	169	177	278	376
デイ	193	237	311	355	621	756	643
合計	500	492	515	605	885	1,117	1,115



納涼会 日常のお手伝い 傾聴 三味線と民謡 カラオケ ウクレレ ハーモニカ ピアノ バイオリン トランペット 大正琴 朗読 書道 陶芸 音楽療法 生け花 将棋 日本舞踊 ダンス フラダンス チアリーディング 手品 など



ご協力いただきましたボランティアの皆様に
あらためて感謝を申し上げます。



ご協力いただいた
皆様

赤塚美容組合
アミカ
アンバス k k
演劇集団呼華
音鳴会
オワシス
音楽同好会
郷土芸能保存会

近隣地域の多くのボランティアの皆様、ボーイスカウト、ガールスカウト、民生委員、学生ボランティア、ゴーゴーボランティア他以下の団体の方々にご協力いただきました。

ザ・ラストワンズ
さくら同好会
サンフラワー
すみれビレッツ
全労災
大門長寿会
手品の学校
東京リネンサービス(株)

徳丸保存会
東京都弘済会
(サウンド・オブ・ハーバー)
(昭ちゃんショー)
(ムズィーク・カペレ)
(ゆうかファミリー)

成増天神太鼓
日本介助犬福祉協会
(株)はとバス
ひまわり会
佛願寺ボランティア
四葉会
樂々会
レ・ジョワイユーズ

(友の会)
東京善意銀行

敬称略 順不同



特別養護老人ホーム

行事のあれこれ



ご利用者
インタビュー

ケアタウン成増の開設当初より入居されているご利用者に
この10年を振り返って頂きました。

- ① ケアタウンでの思い出は?
- ② 思い出に残っているご利用者や職員は?
- ③ お元気で過ごす秘訣は?
- ④ 趣味
- ⑤ 今後楽しみにしていることは?



2階入居者
樋田婦美様
(平成13年5月14日入居)

- ① 初めてのお正月を迎えた時に理事長さんが袴をきて新年のあいさつをされお酒をついでくれた時は涙が出てくるくらいにうれしかった。
- ② 辞めてしまったが、職員で「私のお母さん！」と言って良くしてくれた。
- ③ 元々丈夫である。苦労を忘れないで今までの経験を若い人たちに聞いてもらって伝えていること。人に頼らず何でも自分でやること。
- ④ 大正琴（音楽療法で披露して頂いています）
- ⑤ たくさんの人から「トヨちゃん」と声をかけてもらえること。



3階入居者
鶴岡鈴枝様
(平成13年4月25日入居)

- ① バスハイクで巣鴨に行つたことや外食で寿司を食べに連れて行ってもらったことが・・・いい思い出だね。
- ② 普段からお話をするのは榎本さん（3階ご利用者様）、昔からの知人は2階の樋田さんだね。
- ③ 話すこと。何でも話すことと頭を使う事だね。黙っちゃだめだよ。
- ④ 書道・俳句（作品：朝の風 そよぎて吹くや 春の日に）
- ⑤ 納涼会の花火がきれいだったのでまた、見たいね。あとみんなで歌うこと。